



6/9 ポニーリーグ U14日本代表に選出 アジア大会出場へ

中学硬式野球チーム「高松LTSポニー」に所属する和田海敬選手(さぬき南中学校3年生)が、U14ポニーディビジョンの部の日本代表15名の中に選ばれ、6月にインドネシアで開催されたアジア大会に出場することとなり、市長へ表敬訪問を行いました。

報告を受けた大山市長は、「野球は、人と人との交流が楽しめる競技。今までの練習の成果を十分に発揮してきてほしい」とエールを送りました。

6/12・17～19 瀬戸内国際芸術祭2025夏会期に向け、翻訳アプリ講習会を実施しました！

瀬戸内国際芸術祭2025夏会期に向けたスマホ翻訳アプリの使い方講習会が計4回開催され、あわせて43名が参加しました。

この講習会は、瀬戸内国際芸術祭へ来場される外国の方と円滑なコミュニケーションを図ってもらうために開催され、参加者は、実際に英語を話せるスタッフと会話したり、日本語での伝え方について意見を出し合ったりして、翻訳アプリについての理解を深めました。

■ながら防犯・ながら見守りをはじめませんか？

地域の安全・安心を守るためには、自主的な防犯活動が欠かせません。中でも注目を集めているのが、「ながら防犯」「ながら見守り」。通勤や通学のついでに、気軽に取り組んでみませんか？

ながら防犯とは

日常生活のなかで防犯の視点を持って見守りなどを行う活動のことです。

地域の異変や危険に気づいたときは、110番または近くの交番などに伝えましょう。



ながら見守りとは

普段通りに暮らしながら、子どもの様子に意識を向ける見守り活動です。

いつもと違うことが起こっていないか、不自然なことをを見つけるアンテナを張りましょう。

危険な場所の特徴

- ・ひとりだけになるところ
- ・周りから見えない、見えにくいところ
- ・分かれ道や脇道、裏道の多いところ
- ・空き家などだれもいないところ

※ 危険な場所だと意識することも防犯につながります。

ながら防犯・ながら見守りに多くの方が参加すると、小さな変化を見逃しにくくなり、子どもたちの安心・安全につなげることができます。積極的に挨拶をして、見守りをアピールするなど、できることからご協力をお願いします。



「ながら防犯実践マニュアル」「子ども見守りマニュアル」より抜粋

発行：公益財団法人全国防犯協会連合会

【問】さぬき市少年育成センター ☎(0879) 26-9976